

## 製品安全データシート

製品名 (商品名等)	塗装コークNB
1. 化学物質等及び会社情報	化学物質等の名称：建築用アクリル系シーリング材
会社名	株式会社 服部商店 淀工場
住所	〒613-0916 京都市伏見区淀美豆町705番地
担当部門	生産技術部
担当者	吉岡 望
電話番号	075-631-3128
FAX 番号	075-631-8030
e-mail アドレス	[yoshioka@hattori-yodo.com]
緊急連絡先	淀工場 (TEL075-631-3128)
製品の種類	アクリル系シーリング材
用途と使用上の制限	建築用途

### 2. 危険有害物質の要約

GHS分類	急性毒性 (蒸気)	[分類できない]
【物理化学的危険性】	急性毒性 (粉じん/ミスト)	[分類できない]
火薬類	皮膚腐食性・刺激性	[区分外]
可燃性・引火性ガス	眼に対する重篤な損傷・刺激性	[区分1]
可燃性・引火性エアゾール	呼吸器感作性	[分類できない]
支炎性・酸化性ガス	皮膚感作性	[分類できない]
高压ガス	生殖細胞変異原性	[区分1B]
引火性液体	発がん性	[区分2]
可燃性固体	生殖毒性	[分類できない]
自己反応性化学品	特定標的臓器・全身毒性 (単独曝露)	
自然発火性液体		[分類できない]
自然発火性固体	特定標的臓器・全身毒性 (反復曝露)	
自然発火性化学品		[分類できない]
水反応可燃性化学品	吸引力呼吸器有害性	[分類できない]
酸化性液体	【環境に対する有害性】	
酸化性固体	水生環境急性有害性	[区分外]
有機過酸化物	水生環境慢性有害性	[区分外]
金属腐食性物質		
【健康に対する有害性】		
急性毒性 (経口)		[区分5]
急性毒性 (経皮)		[区分外]
急性毒性 (ガス)		[分類対象外]

### GHS ラベル要素

【絵表示またはシンボル】



【注意喚起語】

:

危険

危険

### 【危険有害性情報】

- ・飲み込むと有害のおそれ。
- ・遺伝子疾患のおそれ
- ・重篤な眼の損傷。
- ・発がんのおそれの疑い。

(注意書き)

安全対策：取り扱い後は手をよく洗う。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

保護眼鏡、保護面を着用すること。

応急措置：口をすすぐこと。

飲み込んだ場合は医師に連絡すること。

直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合は水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズが容易に外せる場合は外すこと。

洗浄を続けること。

保管：該当情報なし

廃棄：内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物製品

化学名：アクリル系シーリング材(タイプ)

成分及び含有量

化学品名	含有量 %	既存番号
アクリル共重合体エマルジョン樹脂 (ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル)を含有 (ポリ(オキシエチレン)＝ノニルフェニルエーテル) を含有	30～40 (1.0%以下) (1.0%以下)	非公開 7-97 7-172
ウレタン樹脂	5～10	非公開
充填材 (酸化チタンを含有)	50～60 (1.0%以下)	1-122 (1-558,5-5225)
添加剤	1～2	非公開
	(100.0%)	

毒物及び劇物取締法：該当せず

### 4. 応急処置

吸入した場合：蒸気、ガス等を吸いこんで気分が悪くなった場合には、ただちに空気の新鮮な場所へ移動し、安静、保温に努め、気分が悪い・頭痛等の異常があれば速やかに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：付着物を拭き取り、大量の水と石鹸でよく洗う。かゆみ、炎症等の症状がでた場合は速やかに医師の診断を受ける。

目に入った場合：直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。  
出来るだけ早く眼科医の診断をうける。

飲み込んだ場合：誤って飲み込んだ場合には安静にして直ちに医師の診断を受けること。  
嘔吐物が気管に流入しないように注意する。  
医師の指示による以外は、無理に吐かせないこと。

## 5. 火災時の処置

- 消火剤 : 化学泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂、水  
危険有害性 : 不完全燃焼による、一酸化炭素中毒に注意。  
消火方法 : このもの自体には可燃性はないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。可燃性ものを周囲から速やかに取り除き、消化作業は風上から行い、適切な保護具を使用する。  
消火者の保護具 : 呼吸保護具、耐熱着衣

## 6. 漏出時の処置

- 人体に対する注意事項 : 作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、ゴーグル等）を着用する。  
環境に対する注意事項 : 漏出物は速やかに密閉できる容器に回収する。  
除去方法 : 大量の場合はスコップ、シャベル等で密閉容器に回収する。  
少量はウエス等で拭き取る。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 【取扱い】 技術的対策 : 換気の良い所で行う。  
注意事項 : 目、皮膚への接触を防止するために状況に応じ保護眼鏡、保護手袋を着用する。
- 【保管】 技術的対策 : 密閉して保管  
凍結、直射日光を避け、屋内で保管すること。保管時の温度は5℃以下あるいは40℃以上とならないようにする。
- 混触禁止物質 : ー  
保管条件 : 直射日光を避け、換気の良い屋内冷暗所に保管する。  
容器包装材料 : 密閉できる容器

## 8. 曝露防止措置及び保護措置

- 【設備対策】 本製品に作業者が直接触れたり、暴露したりしないような配慮をすること。  
【保護具】 呼吸器の保護具 : 呼吸用保護具（有機ガス用防毒マスク等）  
手の保護具 : 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材料の保護手袋を着用する。  
目の保護具 : 保護眼鏡を着用する。  
身体の保護具 : 取り扱う場合には、皮膚を直接暴させないような衣類をつけること。  
また、化学品が浸透しない材質であることが望ましい。

## 9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状态 : ペースト状、  
色 : 白色  
におい : アクリル酸エステル臭  
PH : ー  
引火点 : ー  
発火点 : ー  
爆発特性 : ー  
蒸気圧 : 不明  
蒸気密度 : 不明  
密度 : 1.54 ± 0.05  
溶解性 : 水に可溶  
物理的状态が変化する特定の温度 : ー

## 1 0. 安定性及び反応性

安定性 : 密閉容器中で安定  
危険な反応 : 燃焼反応以外は知見なし  
危険有害な分解生物 : 一酸化炭素ガス

## 1 1. 有害性情報

急性毒性 : ポリ(オキシエチレン) LD50(経口) ラット 9800mg/kg [1]  
=アルキルエーテル LD50(経口) ラット  $\geq 9070$ mg/kg [2]  
LD50(経皮) ラット  $>2000$ mg/kg [1]  
LC50(ミスト) ラット  $\geq 1.5$ mg/L(4h) [1]  
ポリ(オキシエチレン) LD50(経口) ラット 1300mg/kg [1]  
=ノニルフェニルエーテル  
LD50(経皮) ラット 1800mg/kg [1]

皮膚腐食性/刺激性 : 製品 区分外  
ポリ(オキシエチレン) 区分2 皮膚に対して軽度の影響が観察される [1]  
=アルキルエーテル  
ポリ(オキシエチレン) 区分外 皮膚に対して、可逆的ながら中度の影響が観察されている。 [1]  
=ノニルフェニルエーテル

眼に対する重篤な : 製品 区分1  
損傷刺激性  
ポリ(オキシエチレン) 区分1 眼に対して、重篤な損傷を与えることが観察されている。 [1]  
=アルキルエーテル  
ポリ(オキシエチレン) 区分2 眼に対して、可逆的ながら中度の影響が観察されている。 [1]  
=ノニルフェニルエーテル

呼吸器感受性 : ポリ(オキシエチレン) 区分外  
=アルキルエーテル

皮膚感受性 : ポリ(オキシエチレン) 区分外  
=アルキルエーテル  
: ポリ(オキシエチレン) 区分外  
=ノニルフェニルエーテル

変異原性 : ポリ(オキシエチレン) 区分外  
(生殖細胞変異原性) =アルキルエーテル  
: ポリ(オキシエチレン) 区分外  
=ノニルフェニルエーテル

発がん性 : ポリ(オキシエチレン) 区分外  
=アルキルエーテル  
: ポリ(オキシエチレン) 区分外  
=ノニルフェニルエーテル

生殖毒性 : ポリ(オキシエチレン) 区分外  
=アルキルエーテル

特定標的臓器/全身 : ポリ(オキシエチレン) 区分2 (消化器、中枢神経系、肺)  
毒性一単回暴露 =アルキルエーテル  
特定標的臓器/全身 : ポリ(オキシエチレン) 区分2 (肝臓、心血管系、)  
毒性一反復暴露 =ノニルフェニルエーテル

## 1 2. 環境影響情報

- ・漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れ込まないように対処すること。

#### 水生環境有害性

ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル：LC50(96H) 魚類 (0.46mg/L [1])  
：EC50(48H) 甲殻類 (0.46mg/L [1])  
：ErC(72or96H) 藻類 (0.7mg/L [1])

水生環境有害性(急性毒性)：ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル 区分2  
ポリ(オキシエチレン)＝ノニルフェニルエーテル 区分3

水生環境有害性(慢性毒性)：ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル 区分外

#### 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託する。「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従うこと。

容器、機器装置を洗浄した排水等は地面や排水溝へそのまま流さないこと。

汚染容器および包装：許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託する。「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従うこと。

汚染容器・包装：空容器や包装材を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。

#### 1 4. 輸送上の注意

陸上輸送：容器の転倒、落下や引きずる等の乱暴な扱いをしない。法令の基準に従い積載、運送を行う。

海上輸送：法令の基準に従い積載、運送を行う。

航空輸送：法令の基準に従い積載、運送を行う。

国際規格：国際分類(危険物として分類されない)

国連番号(なし)

#### 1 5. 適用法令

【法規則】労働安全衛生法：(57条の2 通知すべき有害物) 酸化チタン(1.0%未満)

PRTR法：第一種指定化学物質

407 ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル(1.0%以下)

410 ポリ(オキシエチレン)＝ノニルフェニルエーテル(1.0%以下)

毒劇物取締法：該当無し

消防法：該当無し

有機溶剤中毒予防規則：該当無し

#### 1 6. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。尚、記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。